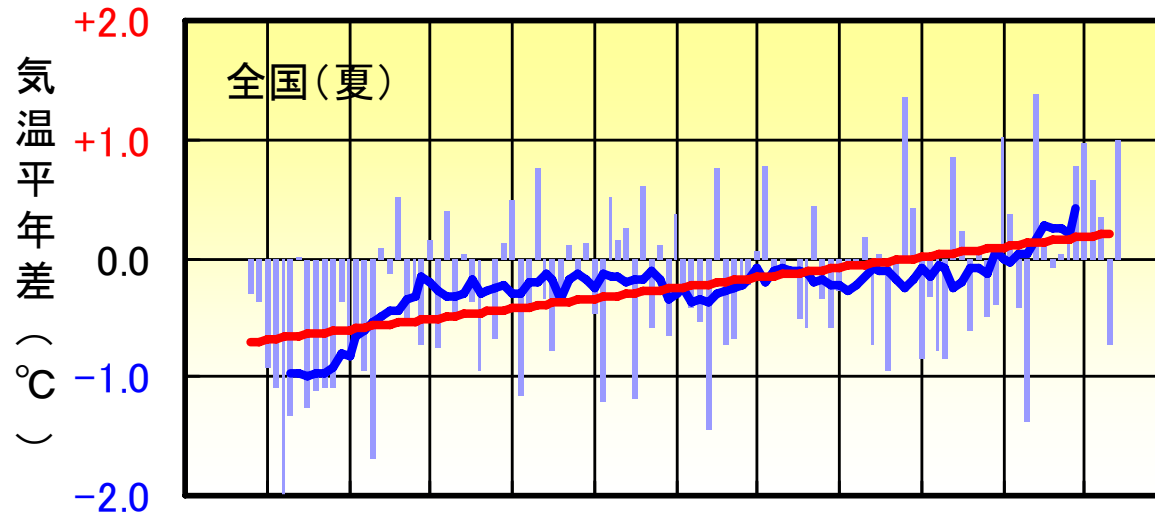


近年の気象と温暖化について

気象庁 諸岡 委員

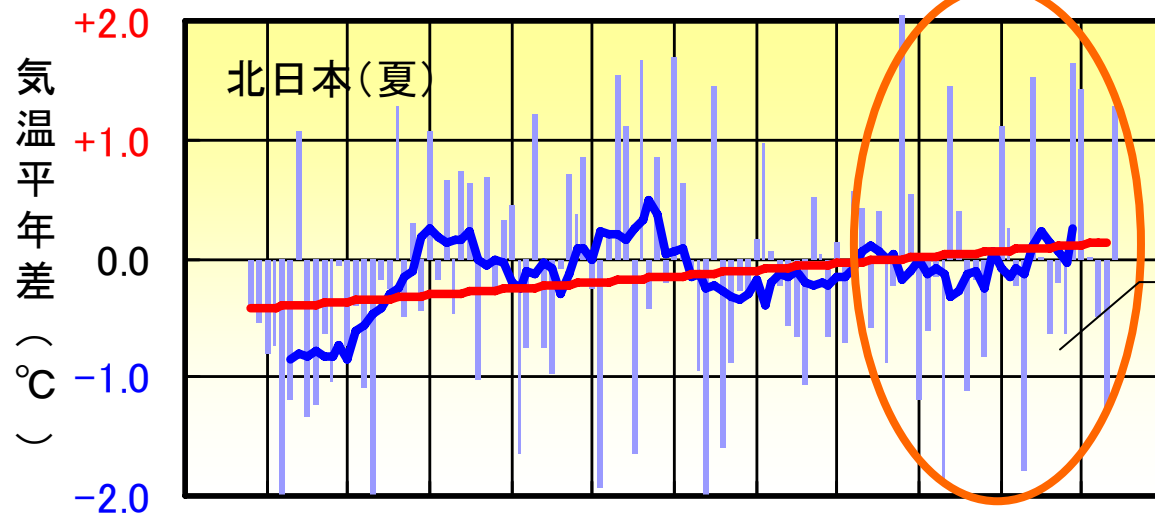
夏の平均気温の変化

全国



100年当たり
 0.87°C 上昇
(統計的に有意)

北日本



100年当たり
 0.53°C 上昇

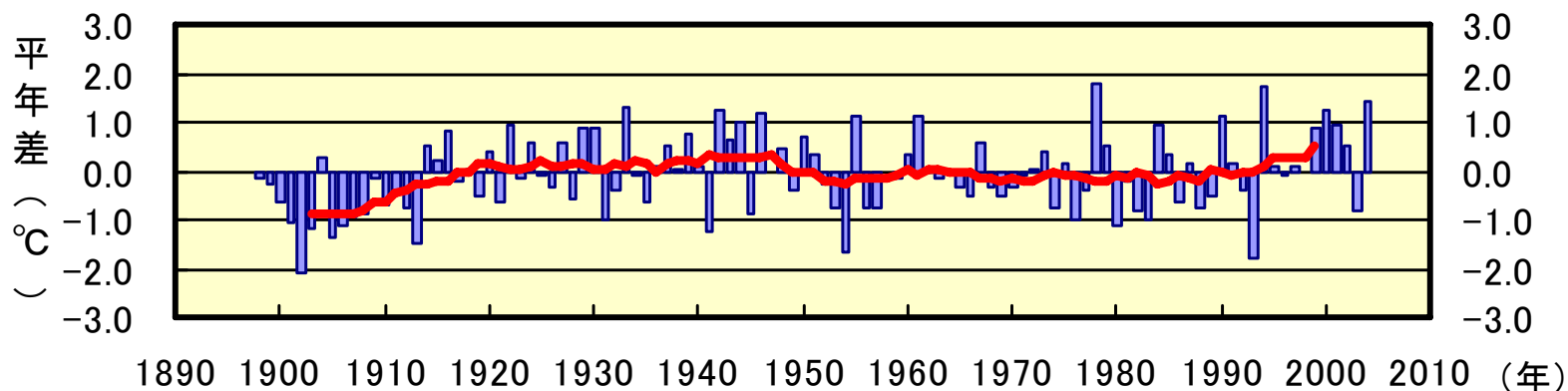
猛暑および
冷夏の出現

夏の日最高気温、日最低気温の変化(全国)

日最高気温

全国(夏)

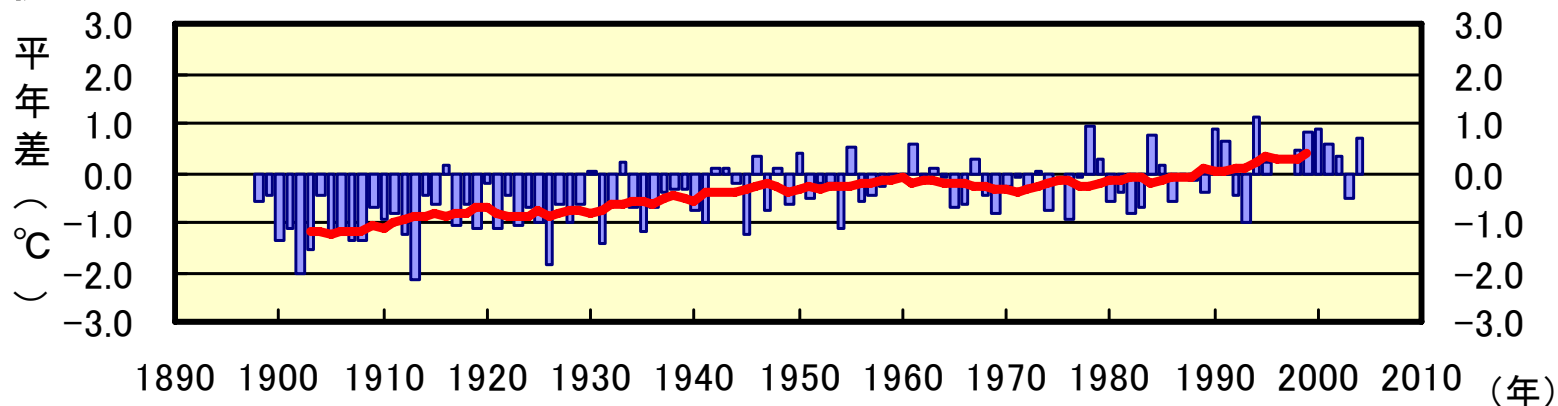
上昇率:100年当たり0.59℃



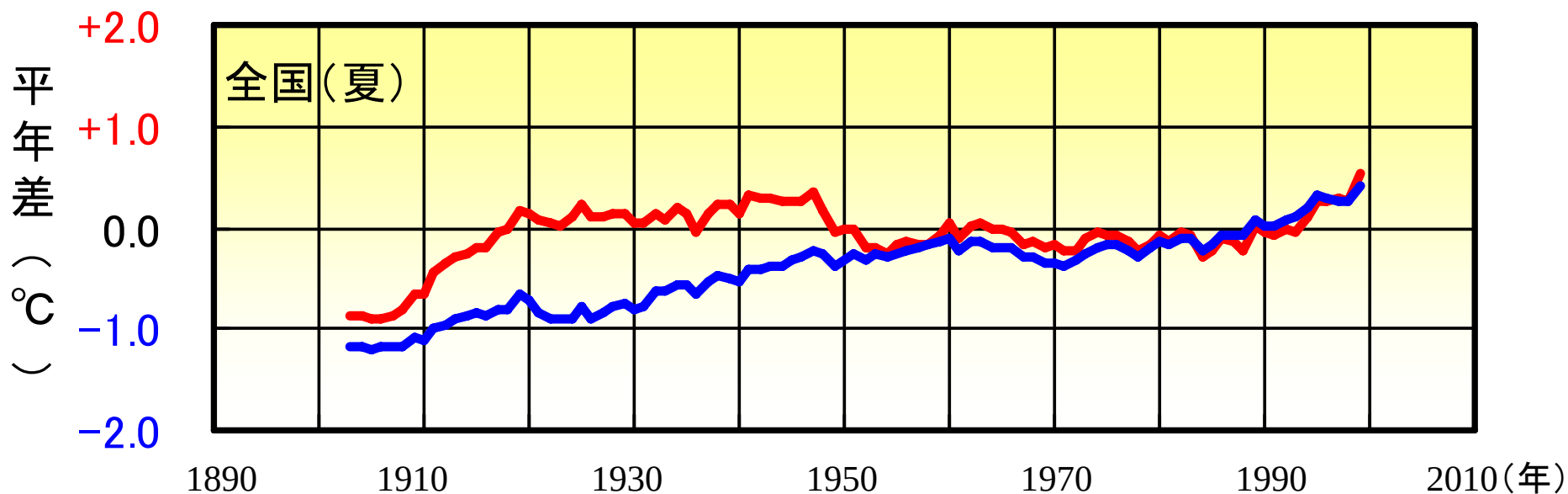
日最低気温

全国(夏)

上昇率:100年当たり1.34℃



夏の日較差の変化



赤: 日最高気温
青: 日最低気温

日較差 $-0.75^{\circ}\text{C}/100\text{年}$ で有意に減少

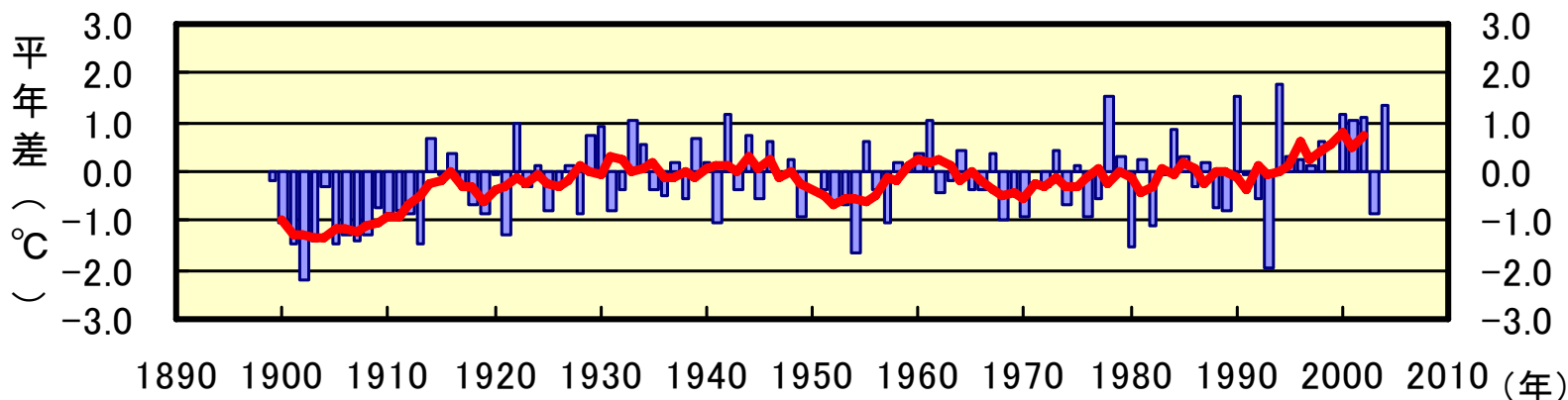
← 年平均よりも大きな減少率

夏の日最高気温、日最低気温の変化(西日本)

日最高気温

西日本(夏)

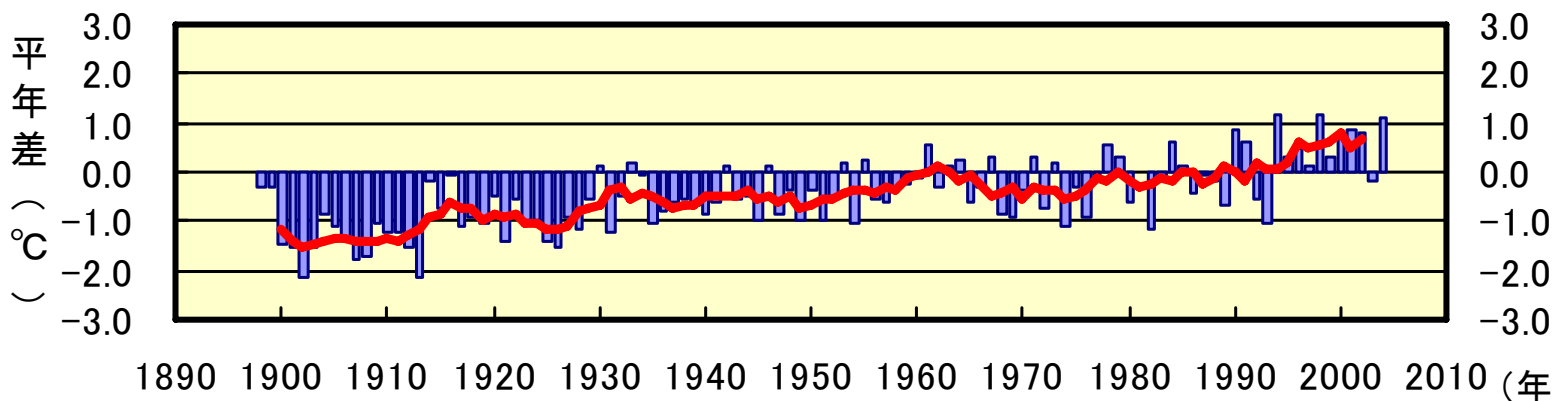
上昇率:100年当たり0.93℃



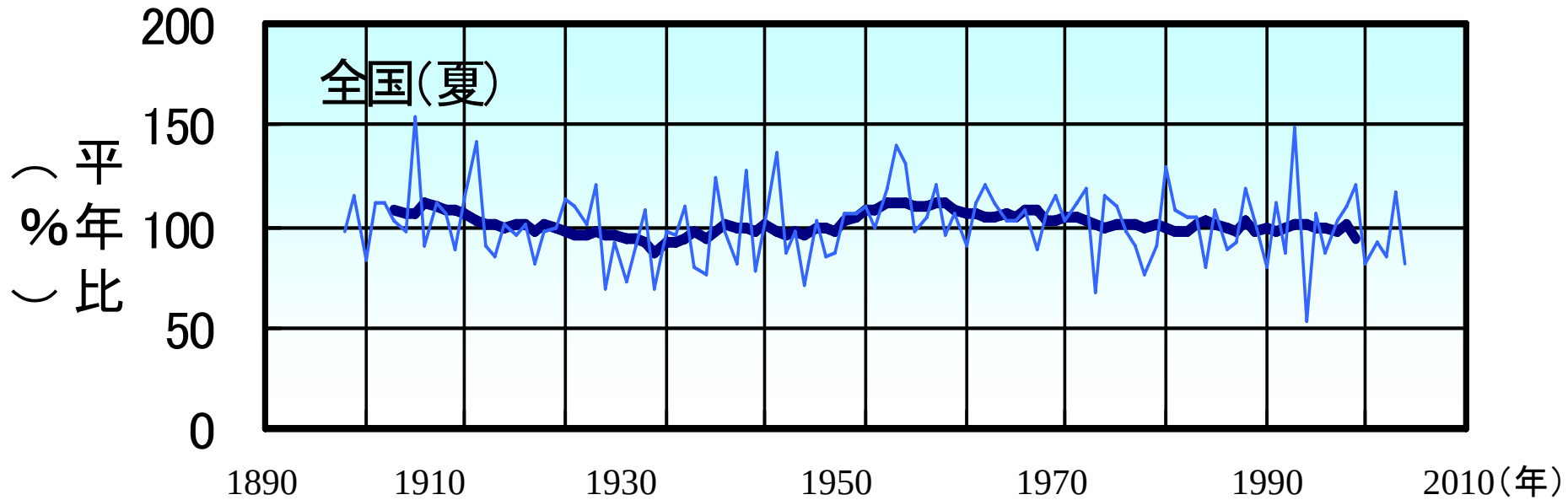
日最低気温

西日本(夏)

上昇率:100年当たり1.56℃

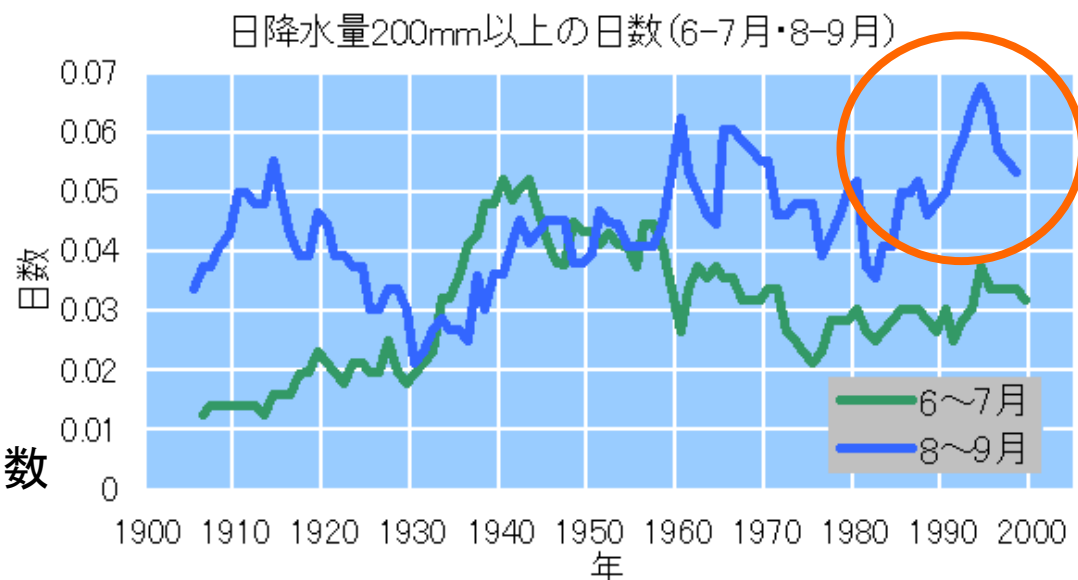
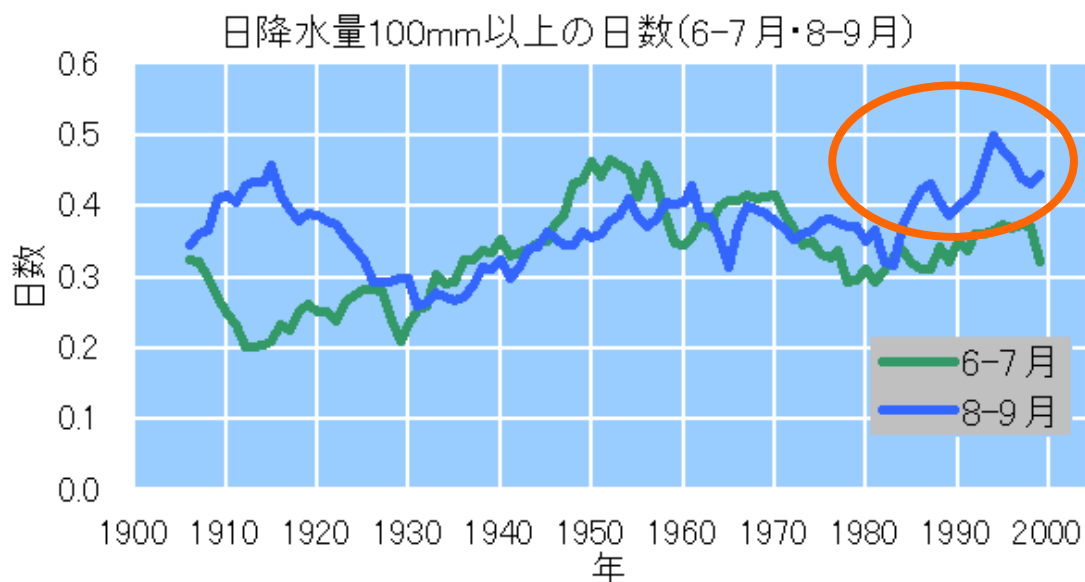


夏の降水量の変化



有意な変化傾向は見られない

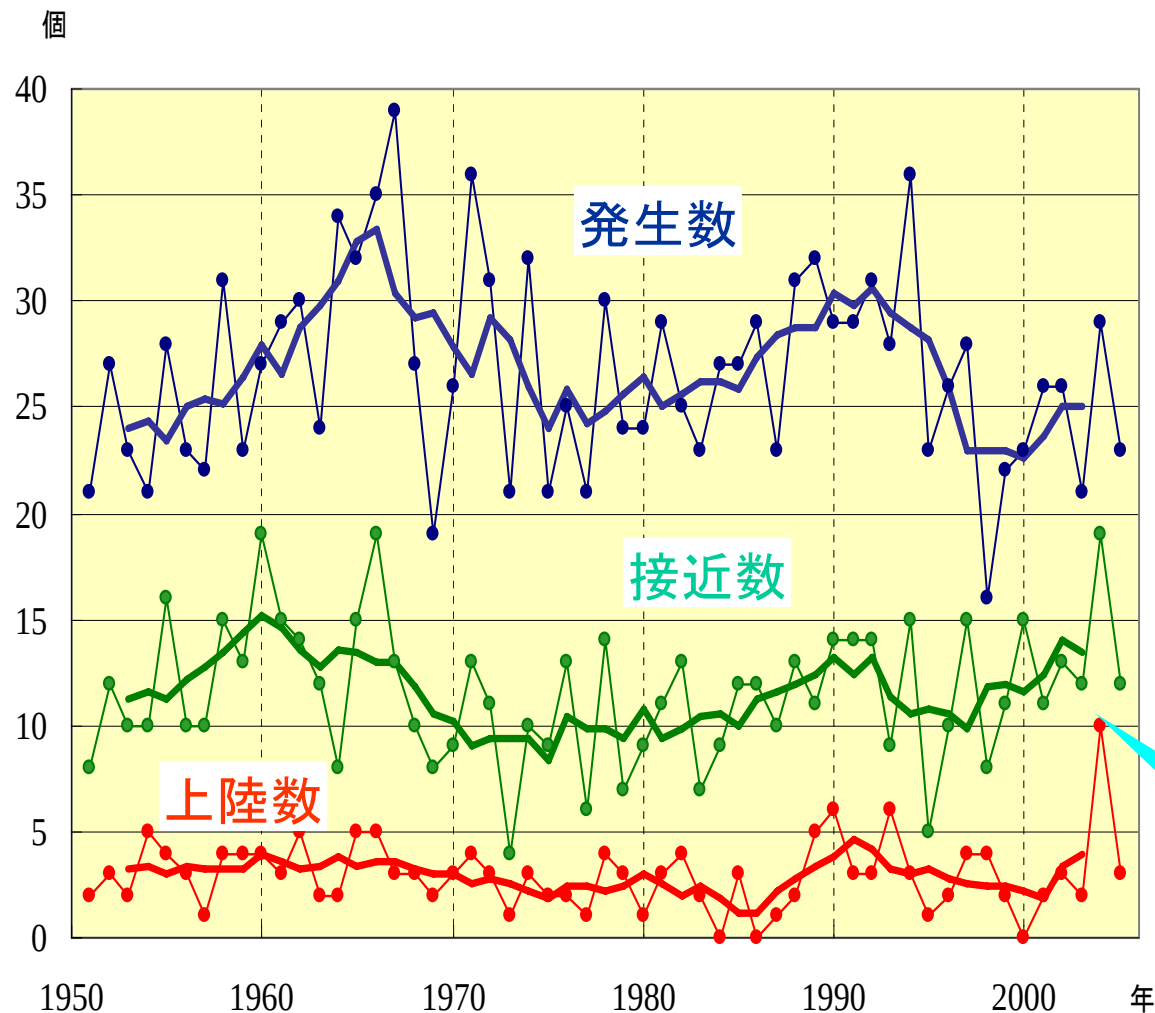
夏の大雨日数の変化



有意な変化
傾向は見られ
ない

1地点当たりの日数
11年移動平均

台風が発生数、上陸数、接近数

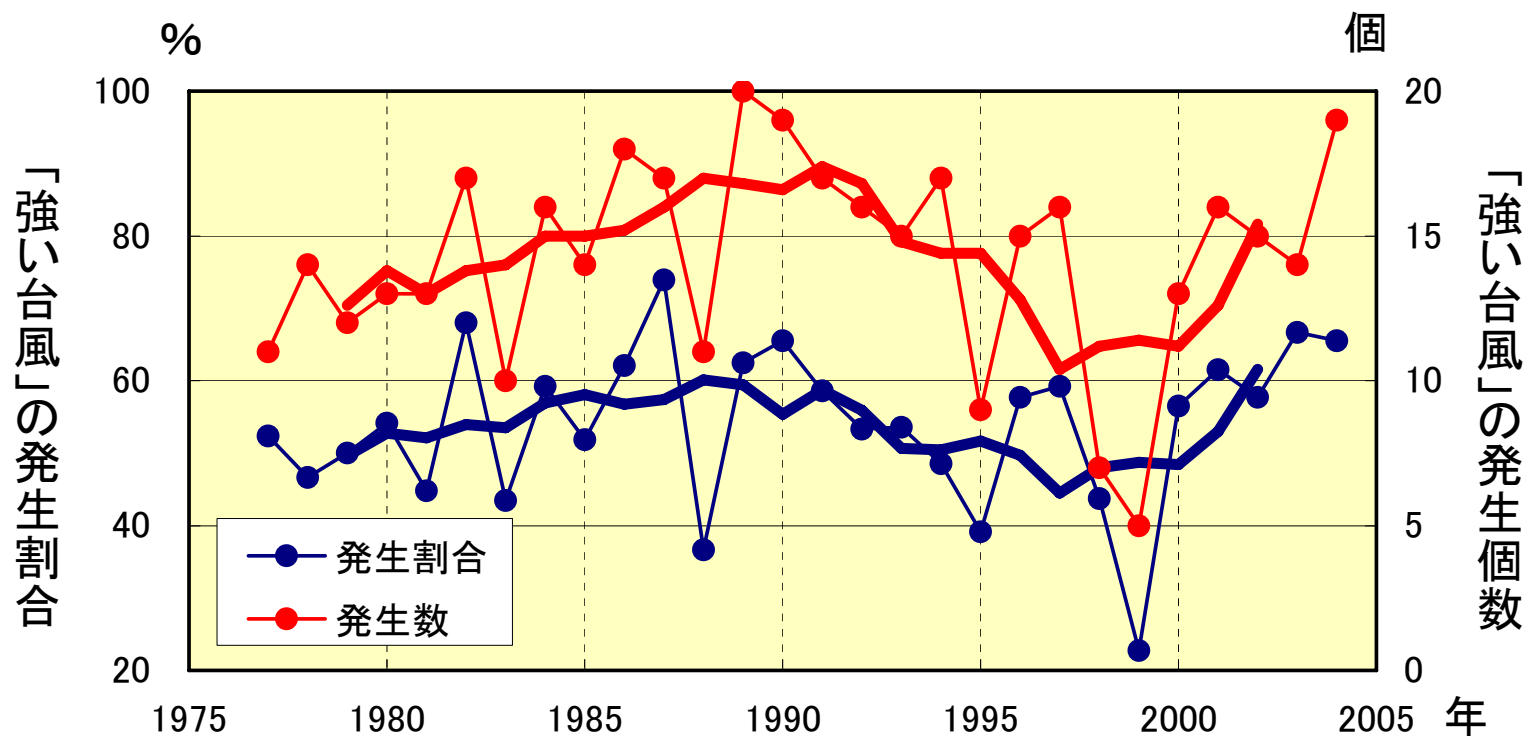


台風の発生数、
上陸数、接近数

共に変化傾向は
みられない

2004年
過去最多の上陸数
10個

「強い」台風の発生の変化



— 強い(中心付近の最大風速が33m/s以上)台風の数

— 全台風(台風: 中心付近の最大風速が17m/s以上)に対する割合

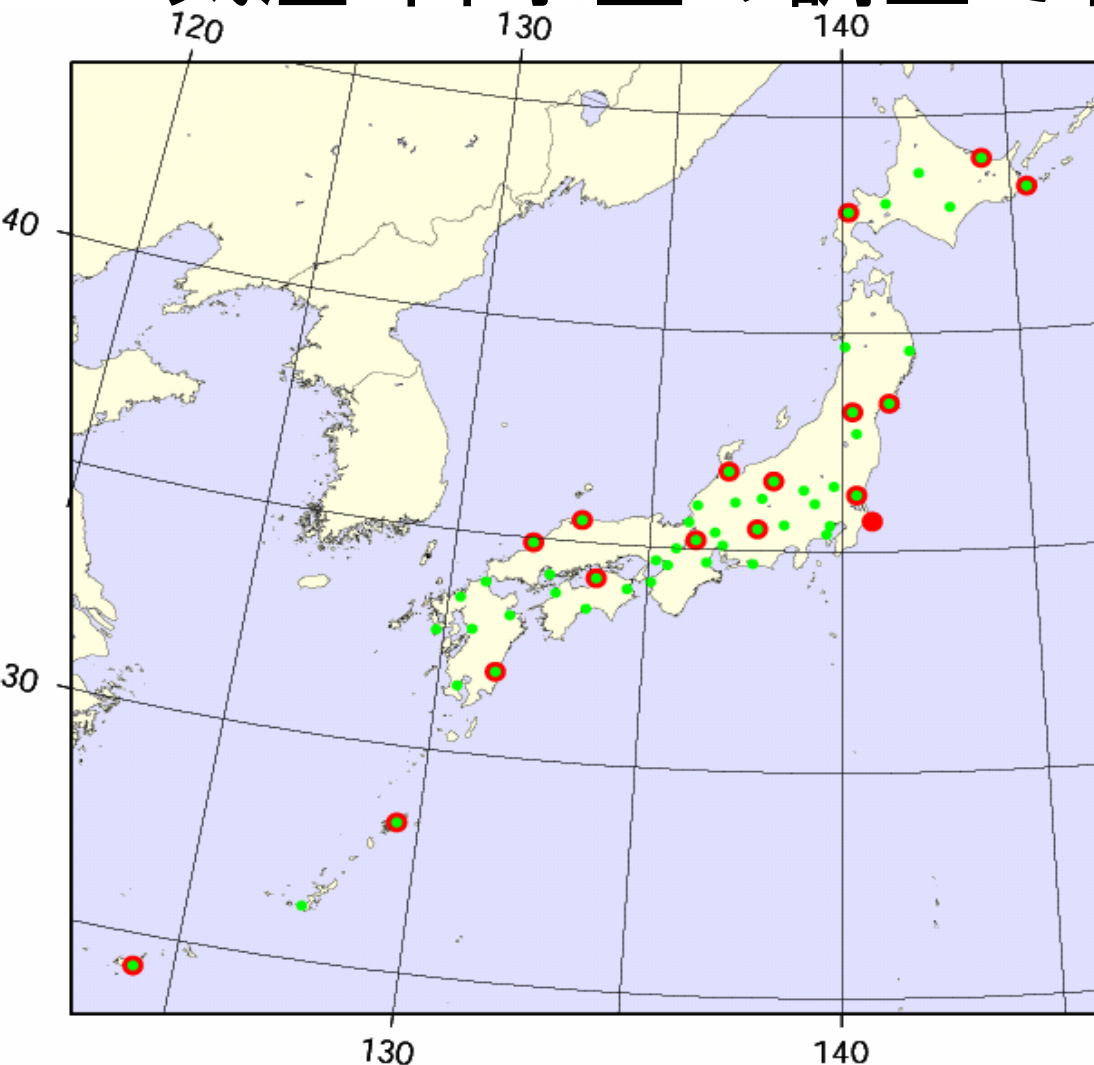
有意な変化傾向はない

まとめ

- 全国的に夏の気温は上昇
 - 近年、北日本では猛暑、冷夏が出現
- 日最低気温の上昇 > 日最高気温の上昇
- 夏の日較差の減少・・・年平均より大きい
 - 西日本の減少 > 全国平均の減少
- 夏の降水量、大雨日数に変化傾向なし
- 台風の発生、強い台風の発生に変化傾向なし

(参考)

気温・降水量の調査で利用した気象官署



● 降水量: 51地点

大きな移転などがなく、100年以上
にわたり均質な観測値が存在する
地点

(1901年以降の日データを整備)

● 気温: 17地点

降水量の地点選択の条件
&
都市化の影響の小さい地点を選択